

造船統計速報（平成24年1月分）

平成24年3月9日
国土交通省総合政策局情報政策本部
情報政策課交通統計室
担当：川口、木口
TEL:03-5253-8111(内線28-743)

1. 概況

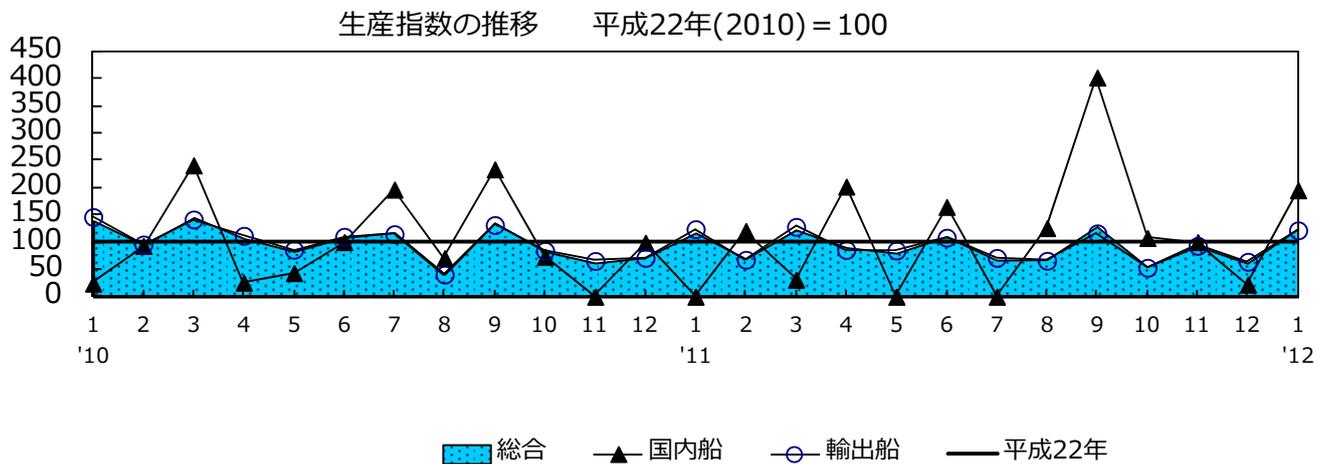
平成24年1月分の造船主要52工場の鋼船建造実績は、起工23隻、98万8千G/T、しゅん工43隻、200万1千G/T、しゅん工船価2,160億円、生産指数（注2）125.3であり、生産指数の前年同月比は、6.1%増であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、一般貨物船1隻、自動車専用船1隻、その他の貨物船1隻、合計3隻、8万7千G/T、生産指数は195.3であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、パナマ・シンガポール等向け一般貨物船16隻、パナマ・リベリア向けばら積み船12隻、パナマ向けコンテナ船1隻、パナマ向け自動車専用船1隻、パナマ・マーシャル等向け鉱石兼ばら積み船5隻、マルタ向けその他の貨物船1隻、パナマ・香港向け一般油送船2隻、パナマ向け化学薬品船2隻、合計40隻、192万3千G/T、生産指数は121.8であった。

鋼船修繕実績は、106隻、工事金額29億円であった。

2. 生産指数の推移 平成22年(2010)=100



注1 本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計「造船造機統計」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

注2 生産指数は、当該月のしゅん工船価（合計）を、基準時（平成22年）のしゅん工船価（合計）の月平均値で除して求めた指数である。また、累計値の生産指数は、当該月までのしゅん工船価（合計）を、基準時（平成22年）のしゅん工船価（合計）の月平均値に当該月数を乗じて求めた数字で除して求めた指数である。なお、本速報の生産指数は、主要工場分のみ速報値である。

注3 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

3. 鋼船建造実績

(単位：隻、G/T、千円、 指数：平成22年平均=100)

用途別		起工		しゅん工				
		隻数	G/T	隻数	G/T	船価	生産指数	前年同月比
合計		23	987,862	43	2,009,271	216,044,607	125.3	106.1
国内船	小計	1	1,790	3	86,596	16,009,550	195.3	—
	貨物船	0	0	3	86,596	16,009,550	—	—
	貨客船	0	0	0	0	0	—	—
	客船	0	0	0	0	0	—	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	—	—
	油送船	1	1,790	0	0	0	—	—
	漁船	0	0	0	0	0	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—
輸出船	小計	22	986,072	40	1,922,675	200,035,057	121.8	—
	貨物船	21	974,522	36	1,710,772	176,536,027	—	—
	油送船	1	11,550	4	211,903	23,499,030	—	—
	その他	0	0	0	0	0	—	—

4. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
	合計	95	(11)	1,833,934
国内船	71	(11)	1,166,761	(1,086,482)
外国船	24	(0)	667,173	(0)

注4 結果表中の「・・・」については、秘密保護上公表しないものである。

注5 鋼船修繕実績における()内は、排水トン表示による船舶で、外数である。